

- 年明けの米国市場は2018年に引き続き、波乱の展開。円高米ドル安進行やNYダウの大幅下落で米10年国債利回りが大きく低下するなど、リスク回避の動きが継続しているとみられる。
- 金融市場、企業景況感ともに心理的な影響が大きい可能性も考えられるものの、懸念材料を抱えるなか、年明けの金融市場で当面、値動きの荒い展開が続く可能性に注意が必要。

円高米ドル安が進行、NYダウも大幅に下落

年明けの米国市場は2018年に引き続き、波乱の展開となっています。

外国為替市場では米ドル/円が12月28日の1米ドル=110円台から1月2日には107円台へと円高米ドル安が進行しました。アップルが2018年10-12月期の売上高見通しを引き下げたことで同社株が急落し、米ドル/円の動きに影響を与えたと報道されています。

米国株式市場では、ダウ・ジョーンズ工業株価平均(NYダウ)が2日は上昇したものの、3日は12月の米供給管理協会(ISM)製造業景気指数が2年ぶりの水準へ低下したことなどを嫌気して朝方から急落し、前日比-660ドルで終了しました。

このほか、米国債市場では、10年国債利回りが28日の2.71%台から3日には2.55%台と、およそ1年ぶりの水準へ大きく低下しており、米国市場ではリスク回避の動きが継続しているとみられます。

不安心理が強く、値動きの荒い展開に注意が必要

1月2日には一時、1米ドル=104円台まで円高米ドル安が急伸しましたが、日本の国内市場が休場のなか、米ドル/円の動きが過剰に大きく振れた可能性も一部で指摘されています。また、ISM製造業景気指数は急低下したものの、3日に発表された12月の民間部門の雇用者数は過去およそ2年間で最大の伸びを記録しており、金融市場、企業景況感ともに心理的な影響が大きい可能性も考えられます。投資家の不安心理を表すとされるVIX指数は12月24日にかけて大きく上昇した後は低下しましたが、市場の不安心理が比較的高いとされる20の水準を上回る状況が続いています。

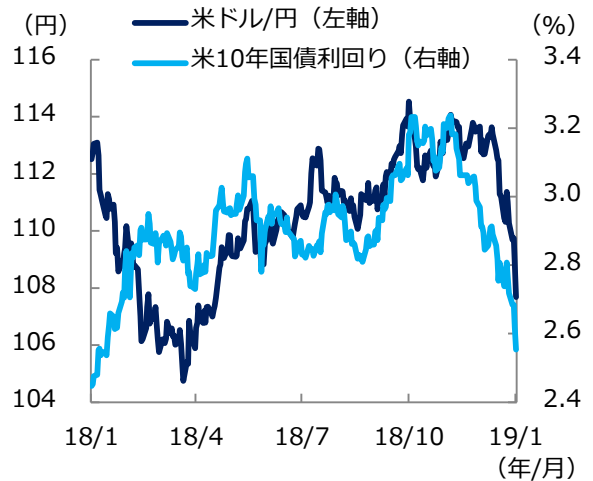
12月22日以降、米国では新たな予算案を可決できない状況で、政府機関の一部閉鎖が続いています。市場が懸念材料を抱えるなか、年明けの金融市場で当面、値動きの荒い展開が続く可能性に注意が必要です。

※上記個別銘柄の揭示は、取引の推奨を目的としたものではありません。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

米ドル/円と米金利の推移



※期間：2018年1月3日～2019年1月3日 (日次)

NYダウとVIX指数の推移



※期間：2018年1月3日～2019年1月3日 (日次)

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（REIT）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

- ダウ・ジョーンズ工業株価平均およびS&P500種指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、ダウ・ジョーンズ工業株価平均およびS&P500種指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。
- VIX指数はシカゴ・オプション取引所が算出する指数です。